



つくしだより



令和4年6月24日
川口市立舟戸幼稚園
年長つくし組

晴れたり雨が降ったり、天気の移り変わりが多いこの季節ですが、子供たちは元気いっぱい汗をかいて遊びを楽しんでいます。プール遊びでは、思いっきり楽しんでいました。安全面に十分気を付けながら、水遊びやプール遊びを楽しみたいと思います。今後も引き続き、充実した園生活が送れるように、一人一人の思いや考えを認めながら、子供たちの成長を援助してまいります。



カラフルな温泉にしよう

砂場では、温泉を作ろうと穴を掘ったり、水を運んだりしている姿が見られます。「水がすぐなくなっちゃう」「ビニールひいて、その上に水をかけようよ」と提案があり、さっそく試してみました。見事に水を溜めることができ、嬉しそうな表情が見られました。「僕は赤の温泉がいい」「水色ある？」「ピンクがいい！」と、自分の好きな色で温泉作りが進んでいきました。「カラフルな温泉にしようよ」という提案に、「いいね」とみんなで大きな温泉を作ることになりました。穴を掘る子、砂を使ってビニールが飛ばないように工夫している子、水を運ぶ子など、役割分担をしながら遊びが進んでいきます。大きな温泉が出来上がったときには、みんなでジャンプして入ったり、足を付けて「気持ちいいね」と感触を楽しみながら砂遊びを楽しんでいました。

その他にもケーキを作ったり、水を流して遊んだり砂遊びが盛り上がっていました。砂や水の感触を楽しみながら、作る過程の楽しさや完成したときの満足感を味わえるように援助していきます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『思考力の芽生え』『自然との関わり・生命尊重』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。



グリーンセンターに招待しよう

遊戯室に、グリーンセンターで見たアスレチックを作ったり、ミニ鉄道を作ったりしながら楽しんでいます。「年少さんや年中さんも（グリーンセンターに）来たいんじゃないかな？」というつぶやきを紹介すると、「年少さんや年中さんを招待しよう！」と話が進みました。「一本橋は今のままじゃ怖いと思う」「もう少し低くするのはどう？」と年少さんや年中さんのことを考えて、アスレチックの形を考えていきました。他にも「昆虫に森も作ろうよ」「ハチの巣みたいにつるそう」「ここに机を置いて虫かごを置こう」と、様々な考えを出し合っていました。

「グリーンセンターの名前ははどうする？」と問いかけると、『ふなと』ってつけるのは？』『みんなの』がいいんじゃない？と、様々な考えが出てきました。他にもチケットや看板作りなど、昨年度招待してもらった経験を思い出しながら、素敵なグリーンセンターを作るためにみんなで取り組んでいきました。

招待当日は、年少さん、年中さんに「ようこそ！グリーンセンターへ」と言って、チケットにスタンプを押したり、アスレチックの場面では手をつないであげたりと、とても頼もしい姿が見られました。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『協同性』『言葉による伝え合い』につながる姿が見られます。

7月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 友達と思いや考えを伝え合いながら、試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう。
- 水の感触や心地よさを味わいながら、友達と一緒に水遊びやプール遊びを楽しむ。
- プラネタリウム見学や七夕の活動を通して、星や宇宙に興味をもったり、飾りを工夫して作ったりすることを楽しむ。